

令和5年度における文化芸術振興関連施策（実績）

山口県文化芸術振興条例に基づき、「やまぐち文化芸術振興プラン」に掲げる文化芸術の振興のための取組を推進し、多様な主体と連携しながら、本県の「文化力」の向上に努めた。




◆**新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症へ移行**
 新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から「5類感染症」に位置付けられたことにより、文化芸術関係者の活動の場や県民の鑑賞機会など、コロナ禍で低下した県民の文化芸術活動がコロナ禍以前の水準に戻りつつある年となった。

1 やまぐちの文化資源を活かした「文化観光」の推進

①【重点】多彩な文化資源を活かした交流の拡大

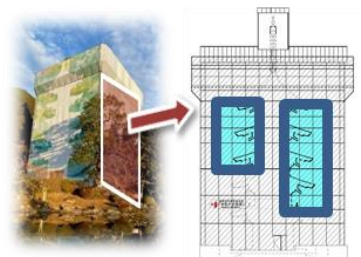
美術館等を核とした文化施設による交流の促進や、文化芸術とスポーツ・観光の連携、文化財の積極的な保存・活用等の取組の推進により、交流の拡大を図る。

■山口きらら文化芸術体験交流事業の実施 【決算額：12,957千円】

概要	若者層に関心の高いダンスイベントと県内の文化芸術団体等によるワークショップの併催による文化芸術体験交流イベント『ダンス☆オン☆きらら』を開催	
内容	○ <u>ダンス☆オン☆きらら</u> （主催：県文化振興課） 開催日時：令和5年9月3日（日） 10時～16時 開催場所：山口きらら博記念公園 やまぐち富士商ドーム 来場者数：約5,000人 【事業概要】 (1) ダンスイベント ジャンルを問わず、ビギナーから上級者までダンスを披露するステージイベントの実施で、発表・観覧の機会を創出 ◆参加チーム：63チーム ◆ゲストダンサー：TAISUKE、SIS、Wacky、KAYLLY (2) きらら文化部活動ゾーン 文化芸術活動に親しむ機会を提供する体験型ワークショップの実施 ◆参加ブース：13ブース（煎茶道、ミニポーチづくり、バルーンアート等）	
		

■「持続可能な文化財」による文化観光推進事業の実施 【決算額：63,359千円】

概要	<p>本県の多彩な文化財を、これまでの保存活用にとどまらず、新たな観光素材として磨き上げ、最大限に活かすことで誘客の拡大を図り、「持続可能な文化財」による文化観光を推進</p>												
内容	<p>(1) 「持続可能な文化財」の創出に向けた文化財磨き上げ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「持続可能な文化財」をテーマとした講演会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：令和5年7月25日（火）13：30～17：15 ・場所：山口県政資料館（旧県会議事堂） ・参加者数：60名 ・Cul-Tube YAMAGUCHIにおいて、講演会の動画を配信 ○文化財の磨き上げ <ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業者選定：5事業者 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">モデル事業活用文化財</th> <th style="text-align: center;">所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>玉椿旅館（国登録有形文化財）</td> <td>下関市</td> </tr> <tr> <td>菊屋家住宅（国指定重要文化財）</td> <td>萩市</td> </tr> <tr> <td>熊谷家住宅（国指定重要文化財）</td> <td>萩市</td> </tr> <tr> <td>旧毛利家本邸（国指定重要文化財）、毛利氏庭園（国指定名勝）</td> <td>防府市</td> </tr> <tr> <td>赤崎神社奉納芸能（県指定無形民俗文化財等）、赤崎神社楽棧敷（国指定重要有形民俗文化財）</td> <td>長門市</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察 ・活用計画の作成 ・新たな環境整備等への支援 <p>○文化財の活用に必要な機能維持（修理、整備等） 対象：国指定文化財及び県指定文化財（瑠璃光寺五重塔ほか）</p> <p>(2) 文化財の情報発信・理解増進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○デジタルを活用した情報発信 ○文化財を活用したふるさと学習の推進 学校対象の文化財講座：20校（1,028名）実施 <p>(3) 瑠璃光寺五重塔の受入環境整備</p> <p>米紙ニューヨーク・タイムズが発表した「2024年に行くべき52か所」の3番目に「山口市」が選出されたことによる瑠璃光寺五重塔の改修現場への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外壁シートの一部を透明化 ○モニターによる改修作業等の公開 <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事（檜皮葺きの技術）を紹介する動画の放映（多言語対応） ・改修現場に設置した定点カメラによる中継 	モデル事業活用文化財	所在地	玉椿旅館（国登録有形文化財）	下関市	菊屋家住宅（国指定重要文化財）	萩市	熊谷家住宅（国指定重要文化財）	萩市	旧毛利家本邸（国指定重要文化財）、毛利氏庭園（国指定名勝）	防府市	赤崎神社奉納芸能（県指定無形民俗文化財等）、赤崎神社楽棧敷（国指定重要有形民俗文化財）	長門市
モデル事業活用文化財	所在地												
玉椿旅館（国登録有形文化財）	下関市												
菊屋家住宅（国指定重要文化財）	萩市												
熊谷家住宅（国指定重要文化財）	萩市												
旧毛利家本邸（国指定重要文化財）、毛利氏庭園（国指定名勝）	防府市												
赤崎神社奉納芸能（県指定無形民俗文化財等）、赤崎神社楽棧敷（国指定重要有形民俗文化財）	長門市												






■美術館を核とした地域連携プロジェクトの展開

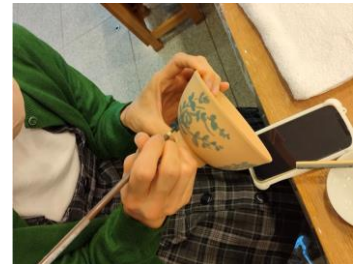
【決算額：8,017千円】

（やまぐち文化プログラム推進事業*の一部）

※ 県・市町・関係機関等が連携し、美術館を核とした地域連携による取組や地域文化を支える人材の育成支援・活躍機会の創出等、多彩な文化資源を活かしたプログラムを展開するもの

概要	県立美術館2館を核に、美術館魅力発信プロジェクトを展開	
内容	<p>◇県立美術館 『HEART』 ＜実施体制＞ミュージアム・タウン・ヤマグチ実行委員会</p> <p>○山根秀信氏によるワークショップ ・「＜シン・ROUTE102・計画＞2024」（3月16日） 小学生4年生から6年生を対象に、豆腐の容器パック模様のブロック制作のワークショップを開催 ・「ルミエール・ド・トーフ」（3月17日） 中学生以上を対象に、豆腐の容器パック模様を活かした照明器具の制作のワークショップを開催</p> <p>○美術館情報発信コーナーの設置 （3月7日～3月24日） 山口市中心商店街の店舗の一角を会場に、ミニワークショップの開催や美術館情報の発信を行い、地域交流を図った。 ・「ROUTE102(ルート・トーフ)アーカイブ展」</p> <p>○アート・マート・ギャラリー 近年の山口県美術展覧会の受賞作家の作品をミュージアムショップで展示・販売 参加作家数 24人、出品数 426点</p> <p>◇萩美術館・浦上記念館 ①アート・フェスティバル（8月6日） ＜実施体制＞萩美まちなか交流実行委員会 ・ミニコンサート ・ワークショップ 「体感アートコーナーみんなでパズる！」 「夏色に染めて作る徳地和紙のタペストリー」 「自分だけのカラーペンをつくろう」 「缶バッジ・マグネットをつくろう」</p>	<p>【参加者数：3,634人】</p>   <p>【参加者数：2,049人】</p> 

	<p>②まちなか交流イベント <実施体制>萩美まちなか交流実行委員会</p> <p>○月夜のナイトミュージアム(10月6日～9日、14日)【参加者数：928人】 萩市主催の「萩・竹路物語」と協働して開催した地域連携イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアム・ライトアップ ・ムービング・ライトショー ・ワークショップ 「きららコースター作り」 「自分でつくるムーミンのぬいぐるみ」 <p>○ミュージアムフェスタ（11月1日～12月3日）【参加者数：2,076人】 開催中の展覧会や浮世絵、やきものに関連したイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオパーソナリティ朗読会 ・コンサート ・萩焼にふれてみよう萩焼作家による呈茶 ・浮世絵まちがいさがし <p>○ミュージアムフェスタ（3月24日）【参加者数：1,823人】 アートを活用した地域住民の交流促進イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄席演芸「紙切り」の世界 ・萩焼ガチャ ・ワークショップ 「萩焼絵付け体験」 「オリジナルペーパーバッグをつくろう」 「浮世絵ミニノートをつくろう」ほか
--	---



■総合芸術文化祭（分野別フェスティバル）の開催

【予算額：一千円】

（やまぐち文化プログラム推進事業の一部）

概要	音楽、文芸、生活文化等、多彩な分野にわたる文化団体による文化芸術活動の発表機会（コンクール、フェスティバル、展示会等）を設けるとともに、県民の文化芸術活動への参加を促進
内容	<実施体制>やまぐち文化プログラム実行委員会 開催時期：4月～3月（県内各地） 参加者数：22,168人

【分野別フェスティバル】

	行事名(主催者)	開催日	開催地等	参加者数
1	山口県ダンスフェスティバル (山口県ボールルームダンス連盟)	4月23日	アブニール菊川 (下関市)	180人
2	山口県洋舞フェスティバル(クラシックバレエ部門) (山口県洋舞連盟)	6月18日	不二輸送機ホール (山陽小野田市)	424人
3	第30回山口県民謡コンクール大会 (山口県民謡連盟)	6月25日	須々万市民センター分館 (周南市)	78人

第2部 令和5年度における文化芸術振興関連施策（実績）

4	第62回全日本吹奏楽コンクール山口県大会 (山口県吹奏楽連盟)	7月28日～30日 8月4日～6日	下関市民会館(下関市) 三友サルビアホール(防府市)	9,957人
5	第78回合唱コンクール山口県大会 (山口県合唱連盟)	8月6日	山口市民会館 (山口市)	1,758人
6	第41回山口県書道連盟展 (山口県書道連盟)	9月9日～10日	防府地域交流センター アスピラート(防府市)	154人
7	第71回山口県川柳大会 (山口県川柳協会)	9月16日	ほしらんどくだまつ (下松市)	123人
8	山口県ダンスフェスティバル (山口県ホールルームダンス連盟)	9月17日	サンワーク美祢 (美祢市)	143人
9	第36回全日本マーチングコンテスト山口県大会 (山口県マーチングバンド連盟)	9月23日	やまぐちリフレッシュパーク (山口市)	402人
10	山口県邦楽大会 (山口県邦楽連盟)	10月1日	三友サルビアホール (防府市)	550人
11	いけばな展 (山口県いけばな作家協会)	10月6日～9日	山口井筒屋 (山口市)	2,521人
12	第54回山口県母のコーラスフェスティバル (山口県母の合唱連盟)	10月15日	スターピアくだまつ (下松市)	473人
13	第62回山口県演劇祭 (山口県演劇協会)	10月22日	下関市民会館 (下関市)	233人
14	第60回山口県俳句大会 (山口県俳句作家協会)	11月5日	山口市小郡地域交流センター (山口市)	627人
15	第7回文化交流展 (山口県書道連盟)	11月11日～12日	萩市民ギャラリー (萩市)	38人
16	第59回山口県歌人協会短歌大会 (山口県歌人協会)	11月26日	KDDIホール(会議室) (山口市)	210人
17	第50回山口県芸術演奏会 (山口県音楽協会)	12月10日	周南市文化会館 (周南市)	513人
18	第68回山口県交響楽団演奏会 (山口県交響楽団)	12月10日	山口市民会館 (山口市)	1,150人
19	第47回全日本アンサンブルコンテスト山口県大会 (山口県管楽アンサンブル連盟)	12月24日～26日	不二輸送機ホール (山陽小野田市)	2,329人
20	第18回山口県ハーモニカクラブ演奏交流会 (山口県ハーモニカクラブ)	3月17日	不二輸送機ホール (山陽小野田市)	305人
			合計	22,168人

■その他の主要事業（「①【重点】多彩な文化資源を活かした交流の拡大」関係）

（単位：千円）



事業名等	決算額	事業の概要
アーティスト・イン・レジデンス事業 【秋吉台国際芸術村管理運営事業の一部】 (文化振興課)	(事業の一部)	◆国内外の若手アーティストを秋吉台国際芸術村に受け入れ、創作活動の支援及び地域交流活動を実施（滞在者数3人）
東部地域文化振興(国際交流)事業 (文化振興課)	1,845	◆県東部地域において、日米交流の促進と地域文化の振興を図るため、日米交流の深化に資する文化芸術活動に対し助成を実施(実績件数:6件)
文化財の調査指導費 【文化財調査指導費の一部】 (文化振興課)	(事業の一部)	◆文化財指定に係る調査、保存及び活用に係る指導 ・歴史資料「大内氏故実書等関係資料（毛利家伝来）付 納箱 四函」を県指定有形文化財（歴史資料）に指定 ・天然記念物「若月家の臥竜松」の県指定天然記念物の指定を解除
世界遺産の保全活用、情報発信等 【文化財調査指導費及び「持続可能な文化財」による文化観光推進事業の一部】 (文化振興課)	(事業の一部)	◆世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の保全・活用、情報発信及び「錦帯橋」の世界文化遺産登録に向けた取組を実施 ・世界文化遺産の構成資産の修復・公開活用計画に基づく技術支援 ・「錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会」による理解増進・情報発信（国際シンポジウムの開催等）
古地図を片手にまちを歩こう推進事業 【選ばれる観光やまぐちプロモーション事業の一部】 (観光プロモーション推進室)	(事業の一部)	◆古地図を片手に城下町や宿場町などを散策し、往時の街道や町並み、人々の暮らしぶりを体感することのできるガイドウォークを県下全域（38地域）で実施
フィルム・コミッションによる情報発信 【選ばれる観光やまぐちプロモーション事業の一部】 (観光プロモーション推進室)	(事業の一部)	◆Webサイトを活用した情報発信 ◆全国、県内市町のフィルム・コミッションとの連携及び情報交換

<p>外国文化講座等の開催 【山口県国際交流協会育成事業の一部】 (国際課)</p>	<p>(事業の一部)</p>	<p>◆県内の外国人住民等を講師として外国の文化について紹介し交流する講座を開催 ・外国文化講座 等</p>
<p>児童生徒慶尚南道友好相互交流事業 (高校教育課)</p>	<p>208</p>	<p>◆交流体験を通じて、生徒の国際感覚を養うとともに、広い視野をもち、異文化を理解し尊重する態度を育成 ・慶尚南道から高校生訪問団を受け入れ、高校や文化施設等の訪問、「SDGs」に関する意見交換等を実施 ・両国の高校生によるオンライン交流</p>
<p>古文書講座・アーカイブズウィーク開催・歴史情報発信 【文書館運営費の一部】 (学校運営・施設整備室)</p>	<p>385</p>	<p>◆古文書講座（4講座） ◆アーカイブズウィークの開催 ◆文書館Webサイト、SNSを活用した歴史情報発信 ◆オンライン歴史講座の開催（4回） ◆文書館研究紀要、文書館ニュースの刊行（年1回）</p>

② 【重点】地域伝統芸能の振興

デジタル技術等を活用し、地域伝統芸能に親しむ機会の創出を図る。

■ デジタル技術による地域伝統芸能に親しむ機会の創出 【決算額：644千円】
(やまぐち文化プログラム推進事業の一部)

<p>概要</p>	<p>令和4年度に制作した伝統芸能体験コンテンツを活用して、保存会と連携した普及活動の展開</p>									
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統芸能体験コンテンツを県内3か所に設置 《設置場所》山口ふるさと伝承総合センター、シンフォニア岩国、ルネッサながと ・ 県内外のイベントで体験コーナーを開設 <table border="1" data-bbox="347 1554 1299 1693" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">開催日</th> <th style="width: 45%;">会場</th> <th style="width: 30%;">体験人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月3日(日)</td> <td>山口きらら博記念公園</td> <td>48名</td> </tr> <tr> <td>3月2日(土)</td> <td>国立劇場おきなわ</td> <td>14名</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>	開催日	会場	体験人数	9月3日(日)	山口きらら博記念公園	48名	3月2日(土)	国立劇場おきなわ	14名
開催日	会場	体験人数								
9月3日(日)	山口きらら博記念公園	48名								
3月2日(土)	国立劇場おきなわ	14名								

■地域伝統芸能全国大会の成果の継承・発展（文化財体験講座） 【決算額：897千円】

概要	県内の無形民俗文化財及び無形文化財について、後継者・継承者の不在が課題となっていることから、後継者育成及び普及啓発を目的とした事業を実施し、次世代への継承を図る。
内容	<p>○県内に所在する文化財指定（国・県・市町）の無形民俗文化財等の保存団体による実演体験を伴う講座及び公演を10事業実施した。（上限100千円/事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実演体験を伴う講座の実施 9団体 ・実演体験を伴う公演の実施 4団体

③ 【重点】「錦帯橋」の世界文化遺産登録に向けた取組の推進

「錦帯橋」の世界文化遺産登録に向けた取組を推進する。

■錦帯橋の登録に向けた取組の推進 【決算額：2,500千円】

概要	「錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会」（県・岩国市・関係団体設置）において、県、市及び関係団体が連携・協働して行う施策等の円滑効果的な推進や、それぞれが実施する施策等の総合調整を図る。
内容	<p>○錦帯橋世界遺産国際シンポジウムの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和5年11月23日 ・会場：岩国市国際観光ホテル ・テーマ：国際的な視点からの錦帯橋のオーセンティシティ※ ※真実性 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○啓発資材の作製 錦帯橋のOUV（顕著な普遍的価値）等の理解増進・情報発信のためのリーフレットの重版（日本語版、英語版）など</p> <p>○PRパネルの展示 全7回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>ポスター（錦帯橋世界遺産登録推進PRキャラクター「美橋とわ」）</p>

④ 多彩な文化資源の国内外への情報発信

本県の文化芸術を国内外へ積極的に発信する取組を強化し、県内の文化芸術の魅力向上と、文化芸術を通じた交流人口の拡大を促進する。

■ デジタル技術を活用した文化資源の魅力向上・発信

（やまぐち文化プログラム推進事業の一部）

【決算額：5,688千円】

概要	県立の美術館の主な所蔵作品を多言語解説によりオンラインで国内外へ紹介し誘客を図るとともに、来館者には展示作品以外についても大型モニターで鑑賞できる環境を整備（R3～）
内容	<p>(1) 県立美術館2施設の所蔵品のデジタルアーカイブ化を実施</p> <p>(2) やまぐちバーチャルアートミュージアムの運用 デジタル化した所蔵作品を「雪舟と雲谷派」や「浮世絵」など5つのテーマごとに展覧会形式で公開するオンライン美術館の公開（解説は英語、中国語、韓国語に対応）</p> <p>(3) やまぐちデジタルギャラリーの運用 県立美術館2施設の所蔵作品を高精細デジタル画像で鑑賞できる大型モニターを両館に設置（解説は英語、中国語、韓国語に対応）</p>

■ 情報誌やウェブサイト等を活用した文化芸術情報の発信

（やまぐち文化プログラム推進事業の一部）

【決算額：1,895千円】

概要	文化プログラムのコンセプトに沿った文化施設での公演や文化イベント等を「協賛事業」として認証し、ロゴマークを付与するとともに、これを付与したイベントの情報をウェブページや情報誌を通じて一元的に発信
内容	<p>協賛事業 200件（P6分野別フェスティバルを除いた事業数）</p> <p>情報発信</p> <p>○紙媒体：文化イベント情報誌「Cul-ちゃ やまぐち」（平成29年9月～）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公立文化施設、県内観光案内所、道の駅、商業施設、金融機関、学校、県外を含む旅行会社や県内各地の宿泊施設への配布 <p>年2回発行 9月(第13号)、3月(第14号) (各2万部)</p> <p>○Web版：情報サイト「Cul-ちゃ やまぐち」（平成29年10月～）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Webページの運営(令和5年度アクセス数合計：45,073件) ・ 自動翻訳機能を用いたホームページの多言語化(令和4年3月～) 多言語対応(英語・簡体語・繁体語・韓国語・スペイン語・フランス語) ・ 文化動画配信(Cul-Tube YAMAGUCHI) やまぐち文化動画配信事業「Cul-Tube YAMAGUCHI」の文化パフォーマンス動画や美術館所蔵作品の解説動画等を紹介 <p>動画本数 35本(令和2年5月下旬から動画配信を順次開始)</p> <p>文化団体等 12本(作成動画6本、応募動画6本)</p>

美術館動画	14本（作成動画7本、萩美祭等のイベント動画7本）
文化財動画	2本（令和5年度作成・公開）
	・「持続可能な文化財」をテーマとした講演会の開催（P4再掲）
	・香山公園瑠璃光寺紹介
視聴回数	42,146回（令和2年5月～令和6年5月末までの全動画視聴回数の合計）

■やまぐち文学回廊構想の推進

【決算額：－千円】

概要	山口県の優れた文学資源を広く県内外にPRするため、「やまぐちの文学」や山口県ゆかりの文学者に関する情報を発信する。								
内容	<p>① 「ふるさと文学ギャラリー」常設展・企画展（県立山口図書館との連携開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○常設展 「やまぐちの文学者たち」40人の作品等のパネル展示 ○企画展 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">企画展テーマ</th> <th style="text-align: center;">開催期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生誕120年、金子みすゞ、林芙美子、田島準子、中本たか子</td> <td>R5.4.29 ～ R5. 8.30</td> </tr> <tr> <td>山口県文学のお宝資料—山口県立山口図書館開設120周年記念展示—</td> <td>R5.9. 1 ～ R5.12.27</td> </tr> <tr> <td>没後10年、まど・みちおの世界</td> <td>R6.1. 5 ～ R6. 4.25</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県政資料館におけるパネル展示 <ul style="list-style-type: none"> ・詩碑・歌碑・句碑・文学碑の写真・由来などを紹介 ○情報誌、Webページ等の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・情報誌「Culーちゃ やまぐち」において、「やまぐち文学巡り」と題し、「やまぐちの文学者たち」を紹介。第13号（令和5年9月発行）では、林芙美子の紹介と各文学館等のイベント情報を紹介 ・Webページ「Culーちゃ やまぐち」において、各文学館等のイベント情報をPR <p>③ 調査・研究事業</p> <p>「やまぐちの文学者たち」に係る貴重な資料を次代につなげるため、主に閲覧困難な雑誌の調査・研究を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事前調査、資料の状況調査 <ul style="list-style-type: none"> ・県立大学郷土文学資料センター・県立山口図書館・中原中也記念館・山頭火ふるさと館・事務局で構成するワーキンググループによる対象の決定 ・令和5年度の調査対象は、県立山口図書館等所蔵の文芸雑誌『水可美』 ○現地調査 <ul style="list-style-type: none"> ・調査対象となった文献の書誌情報等を現地調査 	企画展テーマ	開催期間	生誕120年、金子みすゞ、林芙美子、田島準子、中本たか子	R5.4.29 ～ R5. 8.30	山口県文学のお宝資料—山口県立山口図書館開設120周年記念展示—	R5.9. 1 ～ R5.12.27	没後10年、まど・みちおの世界	R6.1. 5 ～ R6. 4.25
企画展テーマ	開催期間								
生誕120年、金子みすゞ、林芙美子、田島準子、中本たか子	R5.4.29 ～ R5. 8.30								
山口県文学のお宝資料—山口県立山口図書館開設120周年記念展示—	R5.9. 1 ～ R5.12.27								
没後10年、まど・みちおの世界	R6.1. 5 ～ R6. 4.25								

	<p>○整理・公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象資料の現地調査結果を分析し、目録データを作成 <p>○報告会（文学講座）・文学散歩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年3月16日、山口県立萩美術館・浦上記念館（萩市）にて報告会を開催（「防長文学」「山口県文学」の調査研究の成果を報告） ・併せて、文学散歩（「井上剣花坊」の句碑巡り）を実施 <p>④ 会員のPR機会の創出</p> <p>【実施体制】やまぐち文学回廊構想推進協議会（平成9年6月設立） 会長：中原 豊（中原中也記念館館長） 構成：本県ゆかりの文学者の顕彰団体・文学館12団体、関係8市、県関係6機関・団体</p>
--	---

■国民文化祭への派遣

【決算額：188千円】

概要	全国的な規模で文化活動を発表する場の提供等により、文化活動への参加意欲を喚起し、新しい芸能、文化の創造を促す。
内容	<p>○出演団体等に対する出演経費の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費及び楽器等の運搬費について1／2以内を予算の範囲内で補助 <p>【開催地】石川県（10月14日～11月26日） 山口県出演団体：山口県交響楽団、山口県麻雀段位審査会、山口県かるた協会</p>

■中四国文化の集いへの派遣

【決算額：26千円】

概要	中四国9県の文化交流を実施することにより、文化活動の発表機会の拡充と文化意識の一層の高揚を図る。また、地域の歴史と風土から生まれた伝統文化を受け継ぐとともに、地域文化の活性化と文化団体相互の交流促進を図る。
内容	<p>○出演団体に対する出演経費の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費及び楽器等の運搬費について1／2以内を予算の範囲内で補助 <p>【開催地】広島県（10月8日） 山口県出演団体：岩戸神楽舞保存顕彰会</p>

■その他の情報発信

<p>○県文化振興課ホームページ「やまぐちの若き芸術家たち」</p> <p>国内外で活躍する山口県ゆかりの若手芸術家の情報を収集し、活動を紹介</p> <p>○SNSによる情報発信</p> <p>情報の拡散性が高いSNSを活用し、幅広い世代に向けて、本県の旬な文化情報を発信</p>

■その他の主要事業（「④多彩な文化資源の国内外への情報発信」関係）

（単位：千円）

事業名等	決算額	事業の概要
<p>県立文化施設における取組 【各県立文化施設の管理運営事業の一部】 （文化振興課） （学校運営・施設整備室）</p>	<p>（事業の一部）</p>	<p>◆情報誌の発行等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立美術館：「天花」年2回発行 ・県立萩美術館・浦上記念館：「萩」年4回発行 ・県立山口博物館： 「山口県立山口博物館だより」年5回発行 「バーチャル山口博物館」の充実 ・シンフォニア岩国：「ひびき」年6回発行 ・秋吉台国際芸術村：「秋吉台国際芸術村通信-AIAV News-」年4回発行 ・ルネッサながと：「文化情報誌」年3回発行 ホームページ、SNSを活用した情報発信
<p>世界遺産「明治日本の産業革命遺産」インタープリテーションの推進 【文化財調査指導費及び「持続可能な文化財」による文化観光推進事業の一部】 （文化振興課）</p>	<p>（事業の一部）</p>	<p>◆23の構成資産で効果的で一貫したインタープリテーション（理解増進・情報発信）の取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外に向けた広報活動（フォトコンテスト開催、ミステリー小説の製作・公開、ブックカバー製作） ・ガイド研修会（5月17日、11月28日） ・パネル展（6月19日～6月30日：県庁1階エントランスホール）等
<p>世界遺産の保全活用、情報発信等 【文化財調査指導費及び「持続可能な文化財」による文化観光推進事業の一部】〔再掲〕 （文化振興課）</p>	<p>（事業の一部）</p>	<p>◆世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の保全・活用、情報発信及び「錦帯橋」の世界文化遺産登録に向けた取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産の構成資産の修復・公開活用計画に基づく技術支援 ・「錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会」による理解増進・情報発信（国際シンポジウムの開催等）
<p>戦略的デジタル広報推進事業 （広報広聴課）</p>	<p>37,594</p>	<p>◆県の情報発信にマーケティングの視点を取り入れ、県の魅力を戦略的に情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部専門人材による広報コンサルティング ・広報コンサルティングに基づく情報発信
<p>海外訪問団の受入れ対応 （県立美術館）</p>	<p>—</p>	<p>◆県立美術館において海外訪問団を受入れ、本県ゆかりの芸術家の作品等の視察対応を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム・ビンズン省訪問団（令和5年6月18日） ・スペイン・ナバラ州訪問団（令和6年3月14日）

<p>伝統工芸品情報発信等支援事業 (観光プロモーション推進室)</p>	<p>2,023</p>	<p>◆伝統的工芸品月間国民会議全国大会への出展 毎年11月を「伝統的工芸品月間」と定め、伝統的工芸品月間国民会議、同地区大会、図画・作文コンクール等、全国規模の記念式典、各種催事等に参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場：コンベックス岡山(岡山県) ・開催日：令和5年11月3日～11月5日 <p>◆全国伝統的工芸品展 大都市圏における伝統的工芸品の普及並びに需要開拓を目的として、東京で開催される伝統的工芸品展において展示・即売及び制作実演を実施</p> <p>【関西】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場：阪急うめだ本店 ・開催日：令和5年7月12日～7月17日 <p>【関東】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場：松屋銀座 ・開催日：令和6年2月23日～2月28日
--	--------------	--

《取組の評価》（「1 やまぐちの文化資源を活かした「文化観光」の推進」関係）

- 山口きらら博記念公園において開催した文化芸術体験交流イベント『ダンス☆オン☆きらら』では、若者を中心としたダンスの発表の場と、生け花や煎茶、詩吟などの文化芸術のワークショップを「部活動」の名称で併催することで、幅広い世代による文化芸術の交流を促進した。当日は約5,000人の来場があり、コロナ禍で減少していた県民の文化芸術体験機会の創出や部活動の地域移行についての意識の浸透につながった。
- 「持続可能な文化財」をテーマとした講演会等を開催し、文化観光に対する文化財所有者の意識啓発を行うとともに、文化財を活用した観光コンテンツ造成のモデル事業者に対し、コンサルティング・磨き上げを実施し、文化観光の推進に向けて取り組んだ。
- 米紙ニューヨーク・タイムズに取り上げられた瑠璃光寺五重塔の改修現場への受入環境の整備を実施し、文化財修理への理解増進及び県内周遊の促進につながるよう取り組んだ。
 - ・美術館を核に周辺施設や商店街など地域と連携したアートイベントを実施し、美術館への誘客拡大や地域のにぎわい創出に取り組んだ。
 - ・総合文化祭（分野別フェスティバル）では、コロナ禍を経て4年ぶりに参加者数が2万人を超えるなど、県民の文化芸術への参加機会も増加している。
- 錦帯橋創建350年の節目を迎える中、海外専門家の出席による国際シンポジウムを開催し、国際的な観点からの意見や助言をいただき、世界文化遺産登録に向け、錦帯橋の有する価値についての国内外への理解増進・情報発信に取り組んだ。
 - ・美術館所蔵品のデジタルアーカイブ化を継続実施し、「やまぐちデジタルギャラリー」の充実を図ることで、デジタル技術を活用した美術館の魅力発信を行った。
 - ・文化イベント情報誌「Cu1-ちゃ やまぐち」の配布及び同誌Web版による多言語化、「やまぐちバーチャルアートミュージアム」やSNS等の活用により、本県が誇る多彩な文化資源の魅力を国内外に情報発信するとともに、文化芸術活動への県民参加を促進した。
 - ・今後とも、美術館等を核とした文化施策や、文化芸術とスポーツ・観光の連携、文化財の積極的な保存・活用など、多彩な文化資源を活かした取組の推進により、交流拡大を図る必要がある。